

(縁・円・援)



# 兵庫えんだより

このニュースレターは、市町社協の生活支援コーディネーター、住民等が創意工夫しながら行われている生活支援、地域活動をお伝えするために発行いたします。

## 生活支援体制整備事業を振り返る

兵庫県社協では、平成27年度より施行された生活支援体制整備事業が、地域福祉や社協活動にとって生命線になりうる認識で、基盤整備検討会議や養成研修等を実施してきました。今回はその経過を振り返りながら、コロナ禍で明らかになった課題も併せて考えるきっかけとしたいと思います。

### 今までの経過(兵庫県での動き)

#### 生活支援サービス基盤整備検討会 (H27年度)

##### 最初のころの課題

- ①住民の制度理解への必要性
- ②介護予防から社会参加
- ③住民主導の協議体づくり
- ④地域づくりのアセスメントの方法と基本的な視点の理解
- ⑤生活支援COの養成研修  
→ (H27年度から開始)

#### 生活支援体制整備事業 (H27年)

スタート

#### 生活支援体制整備検討会議 (H30年度)

##### 再度検討した課題

- ①小地域福祉活動の基盤強化につながっているか。
- ②生活支援COが役割発揮できる基盤整備は。
- ③行政と社協等受託機関の連携体制について。
- ④成果と課題をどのように可視化できているか。
- ⑤市町で課題化と資源開発を検討する場があるか。
- ⑥地域福祉計画に位置づけ、地域包括ケア・地域福祉・まちづくりの担当が連携しているか。

そして「兵庫県生活支援体制整備の手引き」ができた!

#### 兵庫えんがわナビ (R2年度)

- ①第1層COの役割が不明確であり孤立
- ②背景の違う第1層、第2層。連携の取り方がわからない。
- ③第2層COだけではできない等の意見

#### 兵庫えんだより発行 (R2年度)

コロナ禍で地域活動の自粛により活動者や生活支援COの停滞、迷い、不安等がある。

ピンチはチャンスだ!!

「兵庫えんがわナビ特別 version」開催へ  
○第1層、第2層の連携・協働を考える。

繰り返すコロナ感染拡大に疲弊する地域住民、先が見えない不安に行政、社協、包括、専門職として、いかに向かい合うか。今までの方法でよいのか?  
**いまこそ、行政、社協、包括等が本気で手をつなぐとき!**

【発行元】(令和3年1月29日発行)  
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号  
兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部  
TEL 078-242-4634 FAX 078-242-0297  
E-Mail: chiiki-2@hyogo-wel.or.jp (担当: 山下・永坂)

# いまこそ、行政、社協、包括等一緒になろう!!

## ～なぜ? 立場が違くとコミュニケーションがとりにくい～

第1層、第2層の役割を考える会として、昨年12月24日、令和3年1月13日「兵庫えんがわナビ特別 version」を開催しました。多くのCOたちの迷いと不安な意見を聞きました。これは、生活支援体制整備事業に限らず、今の地域福祉の課題でもあると考え、課題の分析と対応策がないかと考えることにしました。

【テーマ】 「あったらいいな」こんな生活支援体制整備事業  
「あったらいいな」にならないのはなぜ?

### 第1層 Co

#### ○あったらいいな

- ①住民主体の話し合いの場
- ②第2層COの課題を吸い上げられる。
- ③行政・多機関のつながりがある
- ④解決困難な移動支援等の課題の解決

#### ○なぜならないのか

- ①行政・社協・包括等背景や関心ごとがさまざま。
- ②地域福祉の経験が少なく、第2層CO、住民主体への支援の仕方がわからない。
- ③第1層COの役割が明確でない。
- ④地域福祉計画等への位置づけがない。
- ⑤住民と行政のスピード感の違いが理解できない。

### 第2層 Co

#### ○あったらいいな

- ①組織内や第1層CO、行政等との良い連携・協働
- ②組織内や第1層CO、行政等と良い役割分担
- ③住民が主体的に地域づくりに取り組む
- ④住民が面白いと感じること

#### ○なぜならないのか

- ①何でも第2層COだけになり、第2層COは限界
- ②行政が求めているのは「担い手」だが、住民はその必要性を感じていない。
- ③自ら進んでする活動がたのしい、面白くならない。地域の力が生かされていない。

コミュニケーションが大切だよ!



### そのために「こんなことができればいいな」

- ①第1層Co像ってなに? なにか見えるものがほしい。  
業務・悩みの棚卸をしよう→そして、図式化等で見える化してみよう。  
行政・社協・包括の業務で違うところ、同じところ等話し合ってみよう。
- ②関係性が大事だね。…第1層・第2層COの所属や経験による関心の違いを理解する。  
そのうえで強みを生かすための対話を始めよう。
- ③スモールステップでの研修や協議の場を大切にしよう。…今後、①②のことを事例や理論で細かく学んでいこう。

### フォローアップ研修を開催します。

「第2回 第1層COの役割を考えるえんがわナビ」でこんな意見が出ました!(R3年1月25日)

- 第1層・第2層CO共に悩みがあり、すり合わせができていない。
- 組織の成り立ちによって見えにくくなっている。
- 第1層も第2層も地域に出ていくことが必要。つかんでくるものが違う。
- 何ができるか、もっと話し合い、考える機会が必要。
- みんなが笑顔になるために地域の中で「協働」していこう。

3月1日(神戸会場) 3月8日(姫路会場)  
※コロナ感染拡大によりオンライン研修に変更した場合は、3月1日の予定です。(詳細は後日連絡します)

### 【お知らせ】アンケートご協力のお願い

#### 【特例貸付緊急アンケートの実施について】

社協活動に大きな影響のある特例貸付について、関西社協コミュニティーカー協会の緊急アンケートを実施しています。貸付担当者でなくても応援に入った職員や管理職のお立場でも個人として回答いただける調査です。調査を通して職員の声を集める取組にご協力をお願いします。

- ①回答期日 2月20日
- ②調査回答(次のサイトからお願いします。)

<https://blog.canpan.info/kancomi/>

### 【編集後記】

各地に広がる感染拡大に地域の活動者たちが疲弊しながらも工夫し、つながりを切らないように頑張っています。「兵庫えんだより」では、このような地域を支える県内の生活支援COの動きを4月から取材させていただきました。こんなときだからこそ、再度、今までの兵庫えんだよりを見直してみてください。兵庫県社会福祉協議会のHPにも掲載しています。なにか参考になることが見つかるかもしれません。なお、引き続き、各地の活動を紹介していきたいと思っておりますので情報提供をお願いします。